

## 【韓国】日本の近代産業施設に関するユネスコ世界遺産委員会の勧告履行及び後続措置の再履行を求める決議の採択

海外立法情報課 中村 穂佳

\* 軍艦島等の「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」（世界遺産）について、ユネスコ世界遺産委員会の勧告の履行及び後続措置の再履行を求める決議が、2021年9月16日に韓国国会で可決された。

### 1 背景と経緯

2015年、第39回世界遺産委員会において世界遺産一覧表への記載が決定された<sup>1</sup>軍艦島（端島炭鉱）等の「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」<sup>2</sup>について、韓国国会では、2020年12月9日にも関連する決議が可決されていた<sup>3</sup>。現在まで、数回にわたり日本側から保全状況報告書等が提出されている<sup>4</sup>が、このうち、2019年11月29日の保全状況報告書について、当初2020年6月29日～7月9日に予定された第44回世界遺産委員会で審議されることになっていた<sup>5</sup>。2021年7月、新型コロナウイルス感染症流行の影響により延期された第44回世界遺産委員会が開催され、7月22日に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に関する決定文が採択された<sup>6</sup>。決定文では、「締約国が未だ関連の決定事項を十分に実施していないことに強く遺憾である」等としている。

その後、韓国国会において、2021年7月26日に「日本政府の『軍艦島韓国人強制労役』の真実をい曲に対する UNESCO 世界遺産委員会の勧告履行及び後続措置の再履行を求める決議

\* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2021年10月12日である。なお、[]内の語句は、筆者による補記である。

<sup>1</sup> Decision: 39 COM 8B.14 Sites of Japan's Meiji Industrial Revolution: Iron and Steel, Shipbuilding and Coal Mining, Japan. UNESCO World Heritage Convention website <<https://whc.unesco.org/en/decisions/6364/>>

<sup>2</sup> 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業（平成27年記載）」文化遺産オンラインウェブサイト <[https://bunka.nii.ac.jp/special\\_content/hlinkF](https://bunka.nii.ac.jp/special_content/hlinkF)>

<sup>3</sup> 「[2100888] 일본의 하시마 (군함도) 탄광 등 한국인의 본인 의사에 반한 강제노동 동원에 대한 UNESCO 세계유산위원회의 권고와 일본이 약속한 후속조치의 성실한 이행 촉구 결의안 (전용기의원 등 103인)」의안정보시스템ウェブサイト <[https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC\\_R2G0N0V6V2I3X1Z4W3G6I0A1D1O8J4](https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC_R2G0N0V6V2I3X1Z4W3G6I0A1D1O8J4)>; 田中福太郎「【韓国】「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産登録に伴う産業遺産情報センター開設に対する韓国側の動き」『外国の立法』No.285-1, 2020.10, pp.41-43. <[https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_11553736\\_po\\_02850115.pdf?contentNo=1](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11553736_po_02850115.pdf?contentNo=1)>; 中村穂佳「【韓国】軍艦島に関する国会決議」『外国の立法』No.287-1, 2021.4, pp.50-52. <[https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_11659075\\_po\\_02870119.pdf?contentNo=1](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11659075_po_02870119.pdf?contentNo=1)>

<sup>4</sup> 世界遺産委員会での決定により、報告が求められている。「産業遺産の世界遺産登録推進室」内閣官房ウェブサイト <<https://www.cas.go.jp/jp/sangyousekaiisan/index.html>>; 「「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産一覧表記載審議に係る決議の概要」同 <[https://www.cas.go.jp/jp/sangyousekaiisan/pdf/h270705\\_siryoush3.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/sangyousekaiisan/pdf/h270705_siryoush3.pdf)>; 「世界遺産条約履行のための作業指針」文化遺産オンラインウェブサイト <[https://bunka.nii.ac.jp/special\\_content/hlink13](https://bunka.nii.ac.jp/special_content/hlink13)>

<sup>5</sup> 「ユネスコ世界遺産センターへの保全状況報告書の提出について」2019.11.29. 内閣官房ウェブサイト <[https://www.cas.go.jp/jp/sangyousekaiisan/seikaiisan\\_houkoku/191129.html](https://www.cas.go.jp/jp/sangyousekaiisan/seikaiisan_houkoku/191129.html)>

<sup>6</sup> Extended 44th session of the World Heritage Committee. UNESCO World Heritage Convention website <<https://whc.unesco.org/en/sessions/44com/>>; 「제 44 차 세계유산위원회, 일본 근대산업시설의 세계유산 등재 후속조치 이행 촉구 결의문 채택」2021.7.22. 외교부ウェブサイト <[https://www.mofa.go.kr/www/brd/m\\_4080/view.do?seq=371381&srchFr=&srchTo=&srchWord=&srchTp=&multi\\_itm\\_seq=0&itm\\_seq\\_1=0&itm\\_seq\\_2=0&company\\_cd=&company\\_nm=&page=16](https://www.mofa.go.kr/www/brd/m_4080/view.do?seq=371381&srchFr=&srchTo=&srchWord=&srchTp=&multi_itm_seq=0&itm_seq_1=0&itm_seq_2=0&company_cd=&company_nm=&page=16)>

案」<sup>7</sup>が、同年 8 月 11 日には「ユネスコ世界遺産委員会決定文の‘軍艦島（端島炭鉱）強制労役明示’勧告等に対する日本の速やかな約束履行及び後続措置の再履行を求める決議案」<sup>8</sup>が提出された。この 2 件の決議案は、国会の所管委員会（外交統一委員会）での審議を経てまとめられ、「日本政府の‘軍艦島等日本の近代産業施設の韓国人強制労役’に対するユネスコ世界遺産委員会の勧告履行及び後続措置の再履行を求める決議案（代案）」<sup>9</sup>が、同年 9 月 16 日に国会で可決された。

## 2 決議主文及び提案理由（全訳）

### 主文

2021 年 7 月、ユネスコ世界遺産委員会は、日本政府が軍艦島等日本の近代産業施設のユネスコ世界遺産登録<sup>10</sup>時に約束した‘韓国人等の強制労役認定及び犠牲者のための情報センター設立’等を履行しないことに対して強い遺憾を表明し、日本に 2022 年 12 月までに履行事項を再度提出するよう要請する決定文を採択した。

日本政府は、去る 2015 年、軍艦島等日本の近代産業施設を世界遺産に登録する過程で、韓国人等に対する強制労役動員の事実を認定し、犠牲者を記憶にとどめるための情報センター設置等の措置によりきちんと歴史を知らせると約束した<sup>11</sup>。

しかし日本政府は、ユネスコ世界遺産委員会の決定にもかかわらず、‘約束を誠実に履行してきた’とし、多くの韓国人等が軍艦島等日本の近代産業施設で自身の意思に反して動員され、強制労役した事実を依然としてわい曲及び隠蔽しており、去る 2020 年に開館した東京の産業遺産情報センター<sup>12</sup>でもこのような事実を隠し、韓国人に対する差別並びに凄惨であった労働環境及び虐待についての真実をわい曲する展示を開催する等、歴史的真相を隠してきた。

ここに、大韓民国国会は、日本政府が依然として軍艦島等の日本の近代産業施設で恣行した韓国人等の強制労役を否定する点、そしてむしろ虐待の事実を隠す虚偽の展示により犠牲者たちを侮辱した点について、日本政府を強く糾弾する。

また、大韓民国国会は、日本政府が即時に歴史わい曲の振る舞いを中断し、軍艦島等日本の近代産業施設のユネスコ世界遺産登録時に国際社会に約束した後続措置を速やかに再履行することを求め、次のとおり決議する。

1. 大韓民国国会は、日本政府が軍艦島等日本の近代産業施設で数多くの韓国人等を自身の意思

<sup>7</sup> 「[2111733] 일본 정부의 ‘군함도 한국인 강제노역’ 진실왜곡에 대한 UNESCO 세계유산위원회 권고이행 및 후속조치 제이행 촉구결의안(배현진의원 등 103 인)」의안정보시스템ウェブサイト <[https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC\\_C2C1J0C7J2O6Q1V0P0N3P5C7T9X9E7](https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC_C2C1J0C7J2O6Q1V0P0N3P5C7T9X9E7)>

<sup>8</sup> 「[2112022] 유네스코 세계유산위원회 결정문의 ‘군함도(하시마탄광) 강제노역 명시’ 권고 등에 대한 일본의 즉각적인 약속 이행 및 후속조치 제이행 촉구 결의안(양정숙의원 등 68 인)」同上 <[https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC\\_B2B1G0J8X1E1H1Z6E4X1P5G8T8N6Z3](https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC_B2B1G0J8X1E1H1Z6E4X1P5G8T8N6Z3)>

<sup>9</sup> 「[2112511] 일본 정부의 ‘군함도 등 일본 근대 산업시설 한국인 강제노역’에 대한 유네스코 세계유산위원회 권고이행 및 후속조치 제이행 촉구 결의안(대안)(외교통일위원장)」同上 <[https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC\\_I2S1R0F9K1T0H1I8F0M6P2R1T7H3O8](https://likms.assembly.go.kr/bill/billDetail.do?billId=PRC_I2S1R0F9K1T0H1I8F0M6P2R1T7H3O8)>

<sup>10</sup> 原文では「등재(登載)」という用語が使用されている。以下同様。

<sup>11</sup> 「『明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業』のユネスコ世界遺産一覧表への記載決定(第 39 回世界遺産委員会における 7 月 5 日日本代表団発言について)」2015.7.14. 外務省ウェブサイト <[https://www.mofa.go.jp/mofaj/pr\\_pd/mcc/page3\\_001285.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/pr_pd/mcc/page3_001285.html)> 「記憶にとどめる」の訳は、外務省ウェブサイトの仮訳を参照した。

<sup>12</sup> 「産業遺産情報センターの開所について」内閣官房ウェブサイト <<https://www.cas.go.jp/jp/sangyousekaiisan/centre200331.html>>; 「展示」産業遺産情報センターウェブサイト <<https://www.ihic.jp/l/ja-JP/exhibition>>

に反する形で動員し、強制労役させた事実を認めずに、むしろ歴史をわい曲する展示により、犠牲者及び遺族たちを侮辱した行為を厳重に糾弾し、日本政府が歴史をわい曲する行為をやめ、‘軍艦島等日本の近代産業施設で韓国人等が強制労役した事実’を国際社会の前に公式に認めることを強く求める。

2. 大韓民国国会は、日本政府が、軍艦島等日本の近代産業施設のユネスコ世界遺産登録時の国際社会の勧告及び日本が約束した後続措置に従って、韓国人等が強制労役した歴史的事実を反映することができるよう、被害者の証言及び当時の現 [にあった] 実状を知らせることができる資料を日本の産業遺産情報センターの展示内容に積極的に反映し、犠牲者たちを記憶にとどめるための教育及び広報等の適切な措置を迅速に履行することを強く要求する。
3. 大韓民国国会は、日本政府が、今回のユネスコの指摘を厳重に受け入れ、2022年にユネスコに提出する履行経過報告書に軍艦島等日本の近代産業施設での韓国人等が強制労役に動員された事実、韓国人に対する差別、劣悪な労働環境及び残酷な労働現場の実状等についての真実を含めることを強く要求する。
4. 大韓民国国会は、軍艦島等日本の近代産業施設の世界遺産登録時に日本が国際社会に約束した措置を履行しないことに伴い強く遺憾を表明したにもかかわらず、日本が国際社会の改善勧告を継続的に拒否する場合、ユネスコ世界遺産委員会において軍艦島等日本の近代産業施設の世界文化遺産の指定登録取消し等強い措置を採ることを要求する。
5. 大韓民国国会は、日本が歴史的真相をわい曲する等誤った振る舞いを継続する場合、大韓民国政府が国際社会との積極的な連帯を通じて国際的に歴史的真相が正しく反映されるよう迅速かつ強く対応することを求める。

#### 提案理由

2015年、数多くの韓国人等が凄惨な環境で強制労役を行い、命を失った日本の軍艦島等近代産業施設がユネスコ世界遺産委員会で世界遺産として登録された。日本の近代産業施設の世界遺産登録当時、日本代表はユネスコ世界遺産委員会の会議で韓国人等の強制労役の事実を認定し、‘韓国人及びその他の国民が本人の意思に反して連れていかれ、過酷な条件下で強制労役を受けたこと’を国際社会に知らせる措置を採ることを約束した。

しかし、6年が過ぎた現在まで、日本は、近代産業施設での韓国人強制労働を認定しておらず、むしろ犠牲者たちの悲惨であった実状をわい曲する展示を行うことで、犠牲者及び遺族たちを侮辱している。

ここに、大韓民国国会は、日本が軍艦島での韓国人強制労役の事実を認定しない振る舞いを糾弾し、ユネスコに約束した後続措置を必ず履行することを求める。また、日本が上記のような後続措置を採らない場合、ユネスコの日本の近代産業施設の世界遺産登録取消しの議論及び我が政府の断固とした対応を求めようと、同決議案を提案する。